

# 理科(物理・化学・生物・地学) 関西大学 全学日程 (2 / 2実施)

## <全体分析>

試験時間 1科目選択で75分  
もしくは2科目4問選択で100分

### 解答形式

記述・論述・描図・選択・マーク

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

設問数・難易度ともに変化がなかった。

### 出題の特徴や昨年との変更点

すべての問題が空所補充形式であり、昨年と変更はなかった。

### その他トピックス

会話文形式の出題がなくなった。

## <大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔I〕	空所補充 (記述・マーク)	力学 (等加速度運動・慣性力)	物理	三角台とその上に乗った物体の運動を扱った問題。(ii)では、三角台から見た物体の相対運動の向きが、斜面の傾斜角 $\theta$ と等しくなることに注意する必要がある。	標準
〔II〕	空所補充 (記述・マーク)	電磁気 (電場・電位・ホール効果)	物理	(i)は点電荷がつくる電場・電位の様子を考える問題。(5)では正確な計算が要求される。(6)以降は求めた式とグラフを正しく対応させる必要がある。(ii)はホール効果に関する典型的な問題である。	やや難
〔III〕	空所補充 (記述・マーク)	波動 (ホイヘンスの原理・光の干渉)	物理	(i)はホイヘンスの原理から屈折の法則を導出する問題。問題文の誘導にしたがって考えていけばよい。(ii)は薄膜による光の干渉を扱った問題。反射による位相の変化を決定する屈折率の大小関係を、媒質内の光の速さから判断することがポイントである。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

ほとんどの問題が基本的な内容を扱ったものであるため、教科書・参考書などで物理法則を正しく理解することに努め、入試問題集などで頻出問題に慣れておくことが大切である。